

「第51回在宅医療介護連携相談センターたておう研修会」アンケート結果

日時：令和8年6月11日（木）19：00～20：30

会場：公立館林高等看護学院 2階視聴覚室

演題：「当事者の声から考える 本当の意味でのよりそいとは」

講師：NPO 法人キッズバレイ グリーフケア・ネットワークぐんま「ことのは」

丹羽 美礼 様（訪問看護師、グリーフケアアドバイザー特級）

中村 沙樹 様（グリーフケアアドバイザー）

参加人数：58名 アンケート回収枚数：54枚 アンケート回収率：93.1%

参加者の職種：医師…6 薬剤師…4 看護師…22 保健師…3 社会福祉士…1 MSW…2

介護支援専門員…11 介護福祉士…1 介護士…3 行政職員…4 施設管理者…1

1. 本日の研修会の印象はいかがでしたか？

- ① 多いに役に立った 38 ② 役に立った 13 ③ 普通 1
④ 役に立たなかった
⑤ その他 2・気づきがあった

・中村さんのお母様に対する深い愛情の話を聞かせていただき有難うございました

2. 講演時間はいかがでしたか？（今回例年より30分短くしました）

- ① 適切 48 ② 長い 3 ③ 短い 1（もっと話を聞きたかった）
④ その他 2（・夜のため1時間程度で良い・開始時間がもう少し早いと良い）

3. 今後もこのような研修会に参加されたいと思いますか？

- ① 参加する 44 ② 内容による 10 ③ 遠慮したい

4. 本日の研修会のご感想をお聞かせください

- ・言葉選びの大切さを改めて感じた。
- ・キズつけてしまう声かけ、日々気をつけていても難しい。
- ・もっと患者さんへ寄り添う必要性を感じた。
- ・相手に寄り添う事の難しさを改めて考えさせられた。
- ・病気だけでなく、人をみられる医療者になりたいと思った。
- ・「心は目に見えない」という事を大切にしたいと感じた。
- ・患者さんの家族の思いに寄り添っているつもりでも受け側の考え方（思い）を引き出してから関わっていかなくてはならないと強く感じた。
- ・改めてグリーフケアの重要性が理解できた。支援者としての関わりを見直す機会となった。
- ・グリーフケアについてとても納得がいった。

- ・とても良かった。グリーフケアを大切にしていきたい。
- ・「治療の選択をしている時からグリーフケアは始まっている。あり続けること」
死、大切な人を失った人を支えることがグリーフケアだと思っていたが、大切なことを知ることができた。グリーフの正しい理解ができ、私がどのようにどの時に寄り添いたいのか、そばにいたいのか考える機会となった。点ではなく、続くこと…。たしかに家では故人の話をしたい時にしたいだけして、泣く事もできなかつたな、できないなと思った。
- ・日々の自分の看護を振り返る機会にもなった。頭でわかっている、何かしてあげたいと思ってしまう。待つこと、共感すること、無理に声をかけられなくてもいいのだと思った。日頃私も大切にしたいと思っていることだったので今回話が聞けて本当に良かった。家族の思いも率直に聞けてためになった。
- ・普段あまり深く考えずに患者や家族と関わっていた。今回、グリーフケアを考える機会になった。
- ・今まで関わらせていただいた利用者と家族の事を思い出した。どんな声かけをしたら良いか迷ったり、これでよかったのかと思う時がある。今回の研修の事を思い出して活かしていけたらと思う。
- ・仕事上、人の死に触れることがあるが、どうしたら良いか考えることが多かった。今日の話聞き、何かをしてあげなくてはいけないと考えるのではなく、まずは相手のありのままに寄り添うことから始めたいと思う。貴重なお話をありがとうございました。
- ・実際現場で何人もの最期に立ち会ってきた中で、私は寄り添えていただろうかと考えてしまった。何か言葉をかけないと…と思っていたことが多かったように感じる。今回の話を聞き、「救おうとするより過度に傷つけない」という言葉がとても印象に残った。1人1人違う患者さん、他の人と比べずに寄り添ってあげられるようにしたいと思った。二人の話を聞くことができ本当に良かった。ありがとうございました。
- ・とても考えさせられる話だった。日々、患者・家族と接する中で言葉には気をつけているが、自分の言葉、相手のとらえ方を考えることができた。
- ・とてもつらい体験だと思う。それを言葉にして相手に伝えるという事は色々な思いがあつてのことだと思う。貴重な体験、思いをもとにした話が聞けてとても良い時間だった。今後の支援にとっても役立つ内容だった。
- ・悲しみは乗り越えるものでもなく、解決するものでもなく、ずっと人生において持ち続けることという言葉に共感した。またよりその在り方についても勉強になった。グリーフケアの段階も、癌患者等の感じる否認、孤立、怒り、取引、抑うつ、受容というキューブラーロスの段階を踏んでいくのかなとも感じた。また寄り添いもまず傾聴が大事かなと思った。
- ・「本当の意味でのよりそい」乗り越えるものでもなく、連れ添うもの。救おうとはせずに、同調し傾聴していきたいと思う。
- ・本当の意味での寄り添いを理解できたと思う。心配しているよ、そばにいるよという気持ちで接していきたいと思った。
- ・本当の意味での寄り添いについて、「先入観を持たない」「比較しない」という言葉がとても参考になった。普段現場で気をつけているつもりでも相手にとっては更に辛いこともあるという事を聞き、言動の大切さを実感した。貴重な講演に参加させていただきありがとうございました。

- ・よりそう＝目の前の個の悲しみに向き合う。大切だと感じた。
- ・「よりそい」をどのような形で表せるのかを教えてくださいました。これからの業務の中、家庭の中で学ばせていただいた。ありがとうございました。
- ・先入観を持たず、ただただ思いを聴くこと。心配していることが大事だと感じた。
- ・「先入観なくフラットにその人に接する」まずその姿勢を大切にしていきたい。自分の感情に素直に。すぐできるかどうかは分からないが、今日抱いた感情を整理していきたい。貴重なお話をありがとうございました。
- ・自分のグリーフに向き合う貴重な時間になった。大切な言葉、大切な思いをたくさんいただきありがとうございました。
- ・まだ大切な人の死に向き合う経験がないが、今後自身に降りかかる際や周囲で機会があった時にグリーフとの向き合い方が勉強になった。
- ・ケアマネは利用者が亡くなるとそこで支援が終了してしまうのでなかなかご家族のグリーフケアという場面に関わる事が少ないので、今日の話聞いてとても勉強になった。
- ・患者さんの家族の話が聞いてよかった。
- ・当事者の思いを直接聞くことができ、学びになった。
- ・当事者の生の声を聞くことはあまりなく、今回の研修は今までの仕事を振り返ることができた。とても心温まる研修となった。
- ・なかなか遺族の話聞く機会がなかった。聞いてみたかった。とても参考になった。明日からまた看護師として頑張りたいと思う。自分の責務の大きさに背筋を正す思いです。ありがとうございました。
- ・実際の声聴くことができ、自分だったら…と何度も考えさせられた。看護師として何ができるのか、一言がいかに大事になるか改めて感じた。患者に寄り添う中で「言葉」を大切にしていきたい。貴重な時間となった。
- ・当事者の声を聴くことはなかなか限られているが、違った視点からACPを考えるきっかけになった。
- ・とても深く考えさせられる体験談を聞かせていただき、家族を感じる思いまで気遣えなかったと思った。深く反省した。やはり、それぞれ抱えている思いはあると感じた。ありがとうございました。
- ・グリーフケアについて貴重なとても辛い経験を話してくださりありがとうございます。日々の看護について今回の講演内容を常に振り返りながら、患者、その家族と接していきたいと思う。
- ・貴重な体験談を聞かせていただいた。寄り添うという事は、「無理に言葉をかけなくてよい」「目の前の対象を先入観を持たず受け入れる事」ととても心に響いた。ありがとうございました。
- ・二人の本当に大切な方を亡くした生の声を聴くことができとても心に響いた。訪問看護師をしているが、揺れ動く心の在り方に寄り添っていけると感じた。貴重な講演ありがとうございました。
- ・悲しみの中にいる方の思いを聞くことができた。どんな死でも「時間」が解決してくれると思っていた。自分の経験値に当てはめていたことに気づいた。

- ・二人の話を聞き、看護師（プロ）として患者さんの家族への声かけがうまくできていないなど思っていたが少し肩の力が抜けた感覚があった。参加して良かった。今後もご活躍応援しています。
- ・中村さんの体験した時の思いを飾ることなく語っていただき、グリーフケアのプロセスが分かった気がする。
- ・中村さんの想いがよく伝わってきた。ありがとうございました。
- ・病気、そして家族との葛藤、人間の生きることの思いを日常生活では語るこのできない話だった。あの世とこの世の世界を知り人間が霊的なものであるという事に気づけたらと思った。
- ・気持ちが刺さる話だった。資料1つ1つの言葉が心に刺さり、歌にできそうな感じだった。今日から学んだことを活かしていきたい。ありがとうございました。
- ・時々苦しかったが、共有できた気持ちも持てた。
- ・自身も予定日直前に妻が死産した経験がある。当時の自分が感じた悲しみや辛さを思い出しながら、今の自分ならどう寄り添えるかを考えることができた。勤務先の形態で、死別体験をされる家族と多く接する。今日学んだことを活かしながら支援にあたれたらと思う。
- ・私も子供をお腹の中にいる状態で亡くしている。本当にとっても辛かったのを覚えている。あれからずっと心の中にしまっていた気持ちを思い出した。
- ・自分も最近父を亡くしている。グリーフを乗り越えるのは人それぞれだけど、後悔は誰にでもあるものだと思えて気づいた。現場でも今回の講演内容を活かしていきたい。
- ・娘のことを思い出した。泣いてもいいんだと思った。これからのケアに取り入れたい。
- ・親の死後、気づかって声をかけてくれた人の言葉を思い出した。
- ・グリーフケアという初めて聞いた言葉を二人の講演を拝聴して正しく理解することができたと思う。私自身の身近な大切な人との別れがきた時に思い出すと感じた。
- ・恥ずかしながら、群馬でグリーフケア活動をされている方の存在を初めて知った。私は病棟でグリーフケアをやりたいと思っており今後も勉強させてもらいたいと思う。
- ・貴重なお話ありがとうございました。「ことのは」について今回初めて知った。このような場があることは遺族にとって本当に助けになると思う。「見えない背景に心を寄せて」「先入観を持たずにフラットに」心にとめておきたいと思う。

5. 今後、研修会で企画してほしいテーマ等ございましたらご記入ください

- ・緩和ケア、終末期のケアの今
- ・経験談（治療や介護、認知症など）
- ・身寄りなし問題
- ・ひきこもり問題
- ・意思決定についての研修
- ・以前足利日赤で講演していたピエロの人。病院を回っている道化師の方。すごく感動した記憶がある。
- ・認知症という現代人のたどりつく行末をどのように迎えるか、それともそれをどのように回避できるかなど

6. その他、参加してお気づきの点がございましたらご記入ください

- ・ 1時間半くらいの時間が集中できてよいと思った。
- ・ 時間が30分より短くてよかった。
- ・ 計画、準備ありがとうございました。
- ・ いつも興味深い研修企画をありがとうございます。 (2件)
- ・ 現場の医療と介護のサービスに何か要望が聞けたらと思ったが、最後のまとめの話を聞いてわかった。